

事業報告概要書（公表版）

1 基本情報						
施設名又はグループ名			指定管理者名及び団体概要			
都市部の公園・南部グループ			（指定管理者名）公益財団法人 東京都公園協会 （団体の概要）都市緑化の推進、公園や水辺を通じた安らぎとゆとりの提供を目的として設立され、公益目的事業（指定管理者事業を含む）及び収益事業を行う。			
指定期間						
R5.4.1 ～ R10.3.31（5年間）						
2 施設名		3 収支(単位:千円)				
日比谷公園・芝公園・青山公園・林試の森公園・蘆花恒春園・祖師谷公園			令和6年度	令和5年度	令和4年度	公園別支出額
		項目	金額	金額	金額	
		収入 計	765,762	708,447	751,450	
		指定管理料	765,762	708,447	751,450	
		利用料金		0	0	
		その他収入		0	0	
		支出 計	767,073	707,278	740,383	
		収支差	△1,311	1,169	11,067	
4 管理運営の概要						
基本理念「ひとと緑が出会い、未来へつなげるレガシーパーク」 1.公園の魅力アップ ○公園ごとの特徴をとらえたプログラムの企画実施 ○暮らしに身近な自然の魅力を子どもたちに伝える 2.緑の拠点形成と安全安心 ○子どもから大人まで地域の身近な自然に親しむ機会を提供 ○安全安心な活動を可能にする、防災情報の発信、感染症対策を実施 3.協働と連携 ○多様な形の都民協働を推進し、公園発まちづくりを進める ○周辺のまちの変化にあわせ、企業等と連携した新しい公園管理に挑戦						
5 管理状況						
①維持管理 ○日常の基本的な植栽・施設の管理作業を愚直に進めつつ、パークビュースポットとしての魅力を高めるため、日比谷公園では第一花壇の芝生や花・ネモフィラやユリ景観の創出継続・ツツジやフジの開花向上に向けた手入れの継続、芝公園でのもみじ谷の滝や水流を意識した植栽管理・紅葉期のライトアップのスケール向上、蘆花恒春園での開放感のある竹林管理・樹林地保全作業、祖師谷公園での自然樹形を基本とした剪定作業などを実施した。 ○日比谷公園では整備工事が終了した芝庭広場がオープンし、広場の価値を高く保つべく芝刈や灌水・施肥、清掃等の作業頻度を計画・実施し、利用指導を合わせ良好な園地提供が進められた。 ○祖師谷公園では利用者の声を踏まえたトイレ補修を実施。子供でも安心して利用できる明るいトイレへの補修や、ベッド、着替え台などの施設の充実を図った。 ○各公園でのトイレへの非接触型子供用手洗い機や自動水栓化を展開し衛生環境の向上に努めた。 ○青山公園では、発生材を有効活用したバイオネストづくりなどをボランティアなどと協働しながら進め、落葉の堆肥化など公園資源を活かした管理作業を進めた。						
②利用者への対応 ○各公園とも特徴を活かしたプログラムの企画実施により公園および周辺地域の魅力アップを図った。再生整備工事中の日比谷公園では草地広場にて「HIBIYA PARK TERRACE」を開催し、映画上映やボッチャ体験等の魅力ある公園の新しいシーンを創出した。芝公園では新たに増上寺等と連携した講演会開催やスマートフォンアプリの公開、青山公園では新たにヨックモックミュージアムとの連携によるアートイベントの開催、林試の森公園では夏休み期間にあわせたセルフ自然ガイドや、夜間イベント「きら林」の開催、蘆花恒春園では昨年度好評の竹ランタンづくりと夜間演出の拡充による「かやぶきサロン」の開催により、賑わいの創出と利用促進につなげた。令和7年度に開園50周年を迎える祖師谷公園では、小学生が「未来の祖師谷公園」をテーマに描いた作品展示や、公園でやってみたい「マイプラン」の公募により地域とともに機運を盛り上げた。また、本社にパークコーディネーターを配置し、イベント等の企画や広報の充実を図り、効果的に事業を推進した。 ○防災や都会の貴重な緑を活かした取組を通じ、利用者が安全安心に過ごせる環境を提供した。日比谷公園ではコロナ禍で中断していた東京駅周辺防災隣組との連携による防災体験会を再開し、一般来園者も参加可能とした。芝公園では新たにみなと図書館との合同防災訓練の実施、青山公園・蘆花恒春園では保育園等と連携した防災訓練の継続実施、林試の森公園では自治体、自治会や企業等と連携した「防災フェア」の拡充、祖師谷公園では公園が主体となって本格的な防災訓練を実施した。あわせてグループ全体でゲートキーパー研修を実施し、地域のセーフティーネットとして利用者に寄り添う公園づくりを推進した。 ○共創の考えのもと、利用者の公園管理への参画を推進した。日比谷公園では周辺企業や自治体のほか新たに町会やPTAも参加したパークミーティングを開催した。芝公園では近隣企業や寺院等とのパークミーティングを開催、青山公園では新規開園地の愛称をパークミーティング出席者およびWEB投票により決定し、青山特別支援学校と連携して愛称の看板を製作、設置した。林試の森公園では自治会のほかボランティアやスポーツ団体等の多種多様な層より意見を収集、蘆花恒春園では町会等を加えたパークミーティングにてゴミ箱撤去に向けた意見交換、祖師谷公園では保育園へのヒアリングをもとに子ども用手洗い器の設置等、利用者の声を公園管理に反映させ、より良い利用環境を提供した。						
6 利用者アンケート結果 実施方法：公園内で調査票を配布・回収／QRコード掲示によるWEBアンケート						
施設名	総合満足度	植栽管理	施設の清潔さ	安全・安心	職員の対応	
日比谷公園	4.7	4.7	4.4	4.8	4.7	
芝公園	4.7	4.6	4.3	4.6	4.6	
青山公園	4.7	4.6	4.5	4.7	4.7	
林試の森公園	4.8	4.7	4.7	4.7	4.8	
蘆花恒春園	4.8	4.9	4.7	4.8	4.8	
祖師谷公園	4.9	4.8	4.6	4.6	4.8	
7 入園者数の状況（単位：人）						
施設名	当該年度	分析				
日比谷公園	2,105,681	大規模イベントの数が縮小したことにより来園者数が若干減少した。				
芝公園	1,474,525	「おもてなしの庭」活用の新規イベント等で賑わいを創出したが、昨秋150周年イベントの反動減があり微減。				
青山公園	418,364	新規イベント『Art In 青山Park』等によるわくわくスクエアの認知度向上等により利用者数微増。				
林試の森公園	698,494	ラインセンサス回転数減（75％）と春先の保育園等の昼食利用大幅減の影響で年間利用者数は大幅減。				
蘆花恒春園	807,262	『おもてなしイベント』『フードドライブ』等、地域に貢献し愛されるイベントにトライし、微増。				
祖師谷公園	1,154,057	テニスコートの通年稼働や防災訓練の刷新、『見たいの祖師谷公園を描こう！』等の新規イベント等により約10％増。				
合 計	6,658,383					



日比谷公園

進化を続ける公園 “Hibiya Park”
まちとつながる新しい体験を誰にでも



所在地：千代田区／開園面積：16.1ha

「まち」とつながり、公園の新たな使い方を提案する「HIBIYA PARK TERRACE」の開催

NEW 近隣施設と連携した「星空シネマ」

恒例となった「HIBIYA PARK TERRACE」において、草地広場で「**星空シネマ**」を初開催。東京ミッドタウン日比谷で開催された映画イベントと連携し、HPやチラシを相互に掲載・配布する等の連携をはじめ、上映する映画の連携も行うことで、**来園者への新たな公園の使い方の提案や日比谷のまちの回遊性を高めることができた。**



草地広場で10月12日実施の「星空シネマ」は300人を超える大盛況

NEW 屋外でも楽しめるパラスポーツ「ボッチャ」

日比谷公園がデフリンピックの会場になることを機に、**新たに千代田区立障害福祉センターえみふと連携し、パラスポーツである「ボッチャ体験会」を初開催。**新たな協力団体の拡充によりプログラムの充実を図り、同団体の審判有資格者と協力し、日比谷公園で、誰もが楽しめるボッチャの魅力を多くの来園者に体験いただいた。



幅広い年齢層が参加し、列ができるほど大人気

NEW 屋外でも安心な授乳室

「赤ちゃん・ふらっと」の補完のため、遊具のある草地広場に**ベビーケアルームを試験設置**。「また利用したい」「子連れで行きやすい」「清潔でよかった」等の声があり、**利便性向上を図り、現状ニーズを把握した。**



アンケートでは9割の利用者が満足

NEW 地域の活動にも貢献

地域のコミュニティカフェ「**ちよだんどカフェ**」を初出店。障がいを持つ方の就労場所となるカフェの団子や千代田区産のハチミツ、焼き菓子等を販売し、**千代田区産品のPRや地域コミュニティの活性化に寄与した。**



12月のマルシェに地元の「ちよだんどカフェ」が出店

NEW SDGsに寄与する企画も

新企画「**オモイデコウカンジョ**」では、思い出の品に手紙を添えて他の人と交換。また、耕作放棄地の笹で作った「**バンブーツリー**」の展示等、イベントを楽しむ中で**環境に関する意識啓発**につなげることができた。



出品者からのメッセージは誰でも読める



近隣企業・団体との協働による園内の魅力向上とグリーンセッションプロジェクトの推進

Update パークミーティングの活性化で公園を地域のハブへ

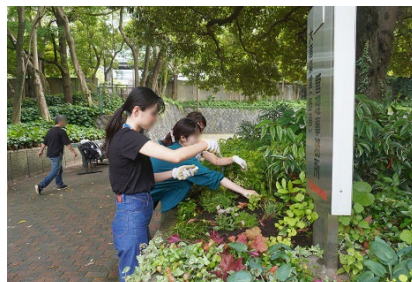
パークミーティングを年2回に増やし、新規に地域の町会やPTA関係者も招聘。メンバー有志による清掃活動や交流会を初開催する等、公園への関係人口の増加、交流促進、公園管理への活用を図った。



車座形式での自由な意見交換の様子

Update CSR花壇の充実に向けた誘致や調整

新規企業の誘致やコロナ禍で活動を休止していた企業へのアプローチを実施。休止中だった1企業の活動再開と新規1企業を誘致し、CSR花壇の拡充を図ることで花壇による公園の魅力発信につなげた。



新たな企業CSR花壇が誕生

Update 企業版プチボラの推進による快適な利用環境

企業版プチボラの更なる誘致に向け、SNSやHPによる誘致や活動状況の発信を強化。16企業延べ315人（前年比211%）に花ガウ摘みや除草、看板清掃等の公園管理に貢献いただいた。



近隣企業とともに園内の美観を維持

皇居外苑北の丸公園と連携した事業の実現

NEW 近隣公園との共催によるガイドツアーの実施

環境省皇居外苑管理事務所北の丸分室・国民公園協会と共に「秋の自然と歴史遺構観察ツアー」を11月に初開催。連携の実現により、両園の自然や歴史遺構の魅力を十分に伝え、アピールすることができた。また、東京セントラルパークを意識した緑とオープンスペースのネットワークの魅力発信や回遊性向上イベント等の実施に向けた関係を築くことができた。



北の丸公園のガイドの様子



日比谷見附の歴史を解説

再生整備計画との連動やバリアフリー、レガシー継承を意識した維持管理

NEW 生まれ変わった芝庭広場の運用・維持管理

芝庭広場の利用ルールや維持管理を、東京都と密に調整・検討し運用を開始。カード配布によるルール周知や専門家による職員向け講習を実施し、利用状況に応じた順応的な維持管理を実施。



新たなスポットとして生まれ変わった芝庭広場

Update 歴史ある施設に磨きをかけレガシーを継承

設置から70年を超える「自由の鐘」について、外壁の高圧洗浄や天井や台座の塗装を実施。園内に残る歴史的施設をこれからも多くの方にお楽しみいただけるよう、補修によるブラッシュアップを図った。



歴史的施設に磨きをかけることができた

Update 誰もが利用しやすい利用者ニーズに応える整備

バリアフリーやニーズを意識した維持管理を実施。園路への浸透桧新設で雨天時の冠水解消や利用者からの要望に応えたトイレ個室荷物置の設置等、誰もがより快適に利用できる環境を提供。



園路の冠水解消（上）とトイレの荷物置新設



芝公園

長い歴史と新しいまちづくりが 出会う公園



所在地：港区／開園面積：12.25ha

芝公園を中心とした芝エリアでの連携の拡大と深化

NEW 芝エリアを楽しく学ぶ「芝楽まなび」シリーズ

従来のガイドツアーに加え、新たに芝公園を中心とする「**芝エリア**」の魅力をより深く楽しく学ぶ4回シリーズの講演会・ガイドツアーを開催。第4回では**初めて増上寺との連携**が実現し、執事長が増上寺と周辺エリアの歴史を解説、42人の参加者からは、「初めて知ることが多かった」「写真や絵が多くわかりやすかった」と大好評だった。



講演会の会場はみなと図書館 増上寺執事長が登壇

NEW 東京タワー展望デッキで万華鏡を作ろう！

12月の都立・区立芝公園で拾った落葉等を使って万華鏡を製作。会場の東京タワーでは、NPO法人が「散るまで生きていた落葉は土に還り他の生命を育む」とSDGsの観点から子ども達にわかりやすく解説。完成した万華鏡できれいに映る落葉等に参加者27人は大喜び。近隣施設と芝公園との連携、SDGsの取組をアピールできた。



大人も子どもも夢中になって万華鏡づくり

NEW みなと図書館企画展 芝公園～昔巡り～

図書館所蔵の公園に関する書籍や、緑と水の市民カレッジ所蔵の古写真等を展示。8/19～12/28に**延べ72,896人が鑑賞**した。観覧者より「芝公園で埴輪が出土していたとは知らなかった」等の感想があり、芝公園一帯の歴史の普及啓発に繋がった。



展示を鑑賞する利用者

NEW みなと図書館との 合同防災訓練

公園主催のイベントで図書館の視聴覚室を使うこともあり、**初の合同訓練を実施**。講演会開催中に火災が発生した想定で、館外への避難誘導、公園内での避難方法など防災時に備え、相互協力のもと利用者の安全確保に備えることができた。



AEDによる応急救命訓練も実施

Update DX活用セルフガイド 時をかける謎解き第2弾

昨年来好評のTOKYO PARKS PLAYコンテンツの続編をリリース。**新たに増上寺と東京プリンスホテルも謎解きスポットに加えて芝地区の周遊を促進**。第1・2弾あわせて3,570人が参加し、多世代に向けて公園の歴史と見どころを紹介した。



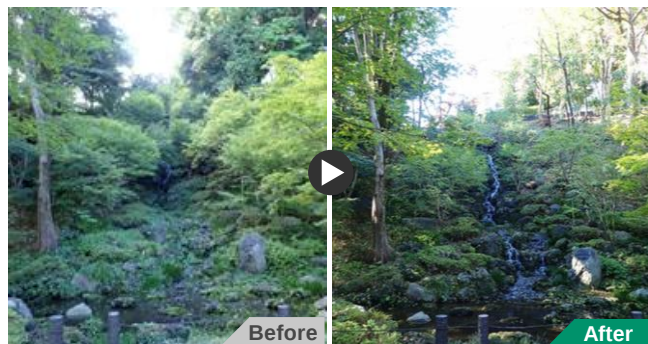
増上寺と東京プリンスホテルもスポットに



歴史資源「もみじ谷」をさらに輝かせる維持管理と夜間演出

Update パークビューを際立たせる植栽管理

もみじ谷では、それぞれの時期に良好な景観が提供できるよう管理作業を進めた。緑量や空間の具合等を勘案し、**滝の水や石の状況が良く見える**よう、またモミジの枝ぶりや、**背景の常緑の濃さ**などを意識した樹木剪定を行い、最高の状態で紅葉期を迎えられた。



Update さらになるグレードアップ もみじ谷の滝あかり

昨年度より**ライトアップ範囲を滝から流れ全体へ拡大、期間も2日延長**した。12/7～25で約2,000人（前年比118%）の来場があった。12/21はイベントを開催し、約100人（前年比167%）が来場。ガイドツアーやミニコンサート、キッチンカーで夜の賑わいを創出した。



芝公園の新たな見どころ・魅力を発見！

NEW 国内外からの来園者をおもてなし 「和」を楽しむ

東京2020大会にあわせて開園した「おもてなしの庭」の認知度アップのため、作庭に携わった**（一社）日本造園組合連合会東京支部長によるガイドツアー**は21人が参加し、作庭意図や庭師たちの思いを伝えた。あわせて植物アーティストの指導による**ミニ盆栽ワークショップ**も開催し13人が参加。日本が誇る造園技術を結集した、新たな見どころとしてアピール。



東京タワーを借景とした「市松の庭」



講師の説明がわかりやすいと好評のミニ盆栽

Update 都会の公園で星空観望

NPO法人小さな天文学者の会との連携。東京タワーの隣で惑星や星雲が見られた！と参加者**130人（前年比181%増）**は大喜び。2月の夜の公園を楽しんだ。



木星のしま模様が見えたよ！

みなと区民まつりへの出展 SDGsに貢献する取組

NEW ロストボールがアート作品に生まれ変わるワークショップ

芝地区の団体、企業、行政が一堂に会する10月の大型イベントに、**テニスコートで発生したロストボールを装飾**するワークショップを出展し、老若男女69人が参加。これまでは処分していたボールの再利用を通じて、公園の取組を広く発信。





青山公園

みんなと描く都心のキャンバス



所在地：港区／開園面積：4.48ha

みんながアーティスト オープンスペースを活かしたダイナミックなアートイベント

NEW ヨックモックミュージアムとの共同開催 アートin青山パーク～空の下で傘にアートしよう～

赤坂・麻布地区の特色“アート”を取り入れたい公園と、空の下で思う存分表現したい美術館とが一致団結。学芸員の指導のもと傘にペイントするワークショップを10月に開催し、計31組78人が参加。参加者より「1歳児が参加できるイベントがなかなかないので嬉しい」「最初は嫌々始めた子どものスイッチが入って集中する瞬間が見られて楽しかった」と好評。公園と美術館双方の知名度アップと利用促進を図った。



公園の広さを活かして 親子でのびのびと制作



世界に一つだけの傘が完成 モニュメント遊具の前で記念撮影

みんなで共創 “わくわく”する公園をデザインしよう

NEW 南地区ひろばの愛称を みんなで決めよう

公園に愛着を持ってもらえるよう、新しい広場の愛称を決める投票を実施。パークミーティング出席者及びWEB投票の計122票のうち31票獲得「わくわくスクエア」に決定。



一般利用者は公園ホームページから投票

NEW デザイナーは青山特別支援学校の生徒 わくわくスクエア看板づくりと完成お披露目

さらに「わくわくスクエア」の周知を図るため、都立青山特別支援学校の生徒が愛称看板のデザインを描き、木育を推進する企業(株)Tree to Greenの協力を得て、同校の美術・図工の授業にてワークショップを実施。完成した看板の12月のお披露目には、小学部3年生を招待。経年で退色した際は再度リペイントを行うこととし、今後の連携強化にもつなげた。



学校の図工室で看板づくりのワークショップ



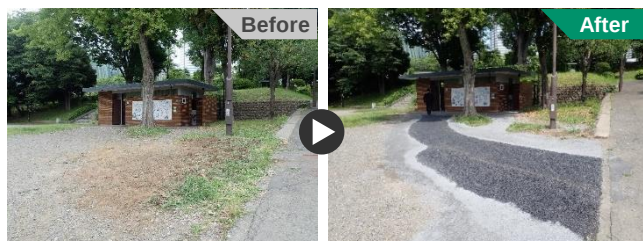
学校より「公園へ来るのが楽しみになりました」



人と自然にやさしい公園の維持管理

NEW だれもが使いやすい公園に

東京都福祉のまちづくり条例施設整備マニュアルをもとに、砂利の路面だった南地区のトイレ前と**既存園路をつなぐ舗装路を新設**。ペビーカー利用者の通行がスムーズになり、園内のバリアフリー化を推進した。



雨天時のぬかるみも解消して歩きやすく

NEW 循環社会への入口 バイオネスト製作

ナチュラルガーデニング講座参加者の協力を得て、公園の景観にマッチした**大中小3基のバイオネストを新たに製作**。植物発生材の運搬・処分コストの削減とともに、園内資源の有効活用を目指す。



園内樹木の剪定枝を外枠に、清掃で回収した落葉を堆肥化して活用

都会の公園でいきものとふれあう

Update 東急建設(株)と連携した自然観察会

毎年好評の昆虫等の観察に加え、**新たな取組として直営でビオトープを作成**して観察会の内容を充実させた。長年連携している青南小学校3年生108人のほか、**新たに港区立子どもふれあいルーム利用者対象に9月に実施**し、19人が参加。子ども達の興味を引き出し、都会の公園の豊かな自然について啓発し、魅力を発信。



ビオトープではトンボの飛来とヤゴの生息も確認できた

Update 一日を通して公園を楽しめる キッズフェスタ

職員によるシャボン玉づくり、(公財)港区スポーツふれあい文化健康財団・(公財)ハーモニセンターによる「ふれあい動物園」、(一社)東京都港区医師会による「みんなのラジオ体操」、(株)Tree to Greenと連携した「たまごカーづくり」やキッチンカーも出店。延べ857人が参加し、**賑わいの創出と地域の魅力向上**を図った。

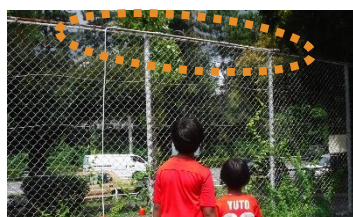


公園の緑と動物達に囲まれて子ども達も自然と笑顔に

子ども達でにぎわう南地区 安全安心な利用環境の提供

NEW ミストシャワーで熱中症予防

多目的広場はスポーツでの利用が多いため、夏季にミストシャワーを3基設置。**利用者の熱中症予防**と快適な利用環境の提供に努めた。



サッカー少年達がミストシャワー前で休憩

NEW 犬の散歩のマナー啓発

わくわくスクエアにて**犬の放し飼いに関するご意見**を受けた。朝9時の開門から1時間半に巡回と声がけを強化し、ルール周知とマナー向上を図った。



犬の飼い主へマナーアップの声掛け



林試の森公園

緑と笑顔が芽吹く公園



所在地：目黒区・品川区／開園面積：12.34ha

都会の森の自然をフル活用 SDGsパークセンターの取組

NEW きら林～kirarin～ 親子で楽しむワークショップとガイドウォーク

9月、「光」をテーマに、第1部「**蓄光粘土のクラフトワークショップ**」には28組が参加。第2部は前日子ども達が作った竹ランタンをイルミネーションとして活用した「**ウォーキングと自然ガイド**」に45人が参加。**夏の夜の見どころを紹介**するワークシートを使い、虫の鳴き声やコウモリ等を観察。さらに、星空観察用の双眼鏡を特別に用意して十五夜直前の月の観察も行い、夜間の公園の新たな魅力を発信できた。



自然公園での業務経験がある職員による解説も行い、イベント内容を充実

NEW 高校生の研究成果発表 外来種について考える

公園主催「土壌生物観察会」と受託事業のかいばりに参加した高校生による「水生生物観察会」を同時開催。**小学生に向けて土の豊かさや池の生態系について啓発。**



観察会に向けてポスター制作ワークショップ

NEW 公園協会18公園合同 セミの抜け殻くらべ

夏休みの子ども達が園内で見つけたセミの抜け殻を、セルフガイドツール「かんさつシート」を見ながら種類を同定、展示。239人が参加し、豊かな自然の魅力を発信に寄与。



このセミの種類は何か？じっくり見比べてみよう

NEW 夏休みの自然観察 林試の森たんけんビンゴ

ビンゴシートを片手に、動植物を見つけるセルフガイドには56人が参加。**ゲーム感覚で都会の公園にある豊かな自然について啓発し、貴重な緑を次世代に繋げた。**



親子で挑戦！達成賞のカプセルトイも好評

自治会・行政・企業が集結 公園を中心とした地域の防災対応力向上

Update 防災フェアin林試の森

目黒・品川区、消防、自治会に加え、新たに警察、企業、ボーイスカウトの協力も得て防災イベントを3月に開催し**1,100人**が参加。**地域連携の拡充**と防災対応力の向上を図った。





公園でスポーツに親しむ

NEW あつまれ！林試の森 みんなで“モルック”

体験会用「林試の森ルール」を策定して誰もが参加しやすいよう工夫。幼児や障がい者には適宜ルールを調整することで**89人の多種多様な層が参加**し、ユニバーサルなスポーツ体験を提供できた（10月）。



散歩で立ち寄った福祉施設の利用者もモルック初体験

NEW 愛犬と一緒に ドッグヨガ&マナーアップ

朝の涼しい時間帯に、緑に囲まれた芝生広場を会場として**飼い主・愛犬いずれも快適にヨガが行えるよう配慮**。18組が参加し、飼い主同士の交流を通じて公園利用時のマナー向上にも寄与した（6月）。



愛犬の隣で「ダウンドッグ」のポーズ 「久々に運動しました」という声もあった

PDCAの実践 新たなニーズをとらえた既存施設の活用

Update 大人気のジャブジャブ池 暑さ対策で熱中症ゼロ

コロナ禍で導入したWEB予約制に代えて、**当日受付の定員制**としたことで、延べ利用者数は**前年比92%増（3,348組6,282人）**。より多くの子ども達が水遊びを楽しみつつも**混雑によるトラブルを防ぎ安全安心な環境**を提供。日よけのタープ設置のほか、**新たにキッチンカーを配備**して期間中10回出店を行い、**利用者サービスの向上と熱中症の防止**を図った。



タープでアウトドアな雰囲気を演出



かき氷・飲料のキッチンカー販売で熱中症防止

Update 緑の中で パークdeワーク

前年度を踏まえ、今年は夏季にサービスセンター横テラスにて暑さと蚊対策のもとテレワーク空間を創出、27人が利用。**WEB版「品川経済新聞」で紹介**され認知度アップ。



参加者より「自然の中で仕事ができる嬉しい」

だれもが利用しやすい公園に ユニバーサル社会に向けた取組

NEW バリアフリーの推進

利用者の声を受け、**車いす等の利用者が他者の補助なく入退園できるよう**、9～16時に南門と西門の**車止めを一部開放**。ホームページでの情報発信および荏原・目黒・大崎の各警察署、交番6ヶ所に情報共有し、利用者への周知を図った。





蘆花恒春園

文学と、武蔵野の風を感じる、
地域に生きる公園



所在地：世田谷区／開園面積：8.03ha

地域に親しまれ、地域に貢献する公園

NEW 食を通じた地域の支えあい「フードドライブ」

家庭で余っている食品を持ち寄り、支援が必要な人に届ける**初の取組**。参加者40人より食品143点を預かり、社会福祉協議会を通じて子ども食堂等に寄付し、地域への貢献とともに多世代に向けて**貧困問題や食品ロスについて考える機会を提供**できた。



3月「花の丘フェスタ」に出展、京王電鉄(株)ほか広報協力

NEW 地域の子ども達を楽しめるイベントの開催

近隣住民や保育園の利用が多い特性を踏まえ、シャボン玉、七夕飾り、花の球根植え・堀上げ、工作教室など地域密着・体験型イベントを**年間計20回開催、延べ716人が参加**。子ども達がいそいそと遊べる安全な環境を提供し、公園の新しい日常を創出した。



シャボン玉の道具は職員製作、職場体験の中学生もイベントをお手伝い

Update 年次の地域防災イベントとして定着

昨年度パークミーティング参加の保育園より「園庭がなく、やりたい訓練ができない」との声を受け、今年度も世田谷区、成城消防署と連携した防災訓練を10月に実施。**昨年度参加の保育園4園に加えて新たに2園より参加申出**を受けた。利用者の声を聴きニーズを把握、それに応えとともに、発災時に子ども達が安全に避難できるよう防災対応力を向上。



園児だけでなく保育士も訓練に参加

「武蔵野の雑木林の自然回復」を「計画的に」「周知する」

Update 雑木林の継承を推進・発信

15年計画で継続中の雑木林の環境保全活動。ボランティアとともにPDCAを回しつつ実生木を育成し、コナラ・クヌギの適正本数を維持。希少植物の保護育成も行い、キンランが**100株に倍増**。環境保全活動を紹介する「JURIN」、見ごろの植物を紹介する「**自然観察見どころマップ**」を創刊し、四季を通じた雑木林の魅力発信を大幅強化。



萌芽更新の状況を見つつ実生を補植



地域との交流・連携を通じた維持管理

Update パークミーティングで意見収集+アクション

今年度は**町会等を加えて年2回実施**。昨年度要望への対応状況などを共有。また来年度実施予定の**園内ゴミ箱撤去についてコンセンサス**を得るなど、公園への意見収集を踏まえて管理運営。



防災訓練、イベントなどに高評価をいただく

NEW 利用者の声を取り入れた安全性向上

昨年度の**パークミーティングでの意見を反映**し、園内7箇所の園路上に「徐行」を表示。生活道路としての自転車通行も多く、接触事故を未然に防ぐため、**高速走行を抑制して安全性を向上**。



立体文字による視認性の高い注意喚起

NEW バリアフリー調査結果に基づく安全性向上

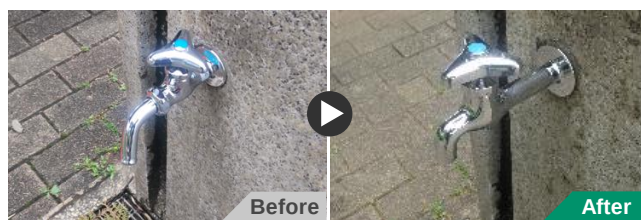
園内13箇所にて**不陸・段差を解消して園路の通行をスムーズに改善**したほか、傾斜地での注意喚起、案内板の更新等、車いす利用者の利便性を大幅に向上し、バリアフリー化を推進した。



園路からのアプローチ改善、ゴミ箱撤去後の活用方法は都と協議予定

NEW 夜間の不適切利用発生後の速やかな対応

4月発生の水栓蛇口の不適切利用とその報道をうけ、直ちに園内**全6箇所の同型蛇口を交換**、防犯カメラ設置や警察のパトロール強化で再発防止を徹底し、**利用者の不安感を払拭した**。



水飲み場の手洗い用水栓をすべて下向き固定の蛇口に変更

地元発信による「かやぶき」継承

Update かやぶきステージからの魅力発信

徳富蘆花旧宅を会場とした恒例の人気イベント。**今回初めて「日本舞踊と篠笛」(5月)、「テノールとバイオリン・ピアノ演奏」(10月)を演目**とし、文化財の活用可能性を拡大。また徳富蘆花に深く関わるテーマ設定、近隣住民の出演等により、地域交流および日本文学の発信双方の拠点として文化財を活用。



各回用意した座席の1.5～2倍の参加者

Update 竹ランタンあかりナイト&かやぶきサロン

竹林の発生材を活用した竹ランタンづくりのワークショップと、参加者自身による徳富蘆花旧宅母屋前の飾りつけイベントを12月に開催。新たにキッチンカーを手配し、**竹あかりのもと、読書や喫茶で寛げるサロンの空間を提供**。**前年比13%増の315人**が来場し古民家でゆったりとした時間の流れる懐かしい暮らしを追体験。



竹ランタンは前年比44%増の90個制作、やさしい光を寛ぎながら楽しむ



祖師谷公園

暮らしに寄り添い
みんなが集まるホームパーク



所在地：世田谷区／開園面積：9.49ha

みんなで考えよう！提案しよう！祖師谷公園の未来

NEW みんなのホームパークづくり「未来の祖師谷公園を描こう！」

- 児童館協力のもと、子ども達が「未来の祖師谷公園」をテーマに絵を描き、**夏休み期間中、35点の作品を親水テラスに展示**。安心して遊べる、子どもの居場所づくりにつながった。
- 展示した作品を**鑑賞した利用者からコメントを聴き取り、作品を描いた子ども達にフィードバック**することで、地域コミュニティの活性化を図った。
- 園内の茶々そしがやこうえん保育園がこの取組に大変興味を持ち、自主的に絵を描いて保育園内に展示。職員が訪問し、園児達と交流を深め、コミュニティの輪が広がった。



サービスセンターで「みんなでかこう！」を実施



親水テラスを望む藤棚前の手すりに作品を展示

NEW 公園で、できたらいいな！マイプラン募集

令和7年度の開園50周年記念事業として、公園でやってみたいことを募集。20件の応募の中から審査を行い、優秀作品「移動動物園」のほか「昔の写真展」等を次年度実施予定。地域とともに50周年を祝い、公園への愛着をさらに深めていく。



WEB応募のほか、用紙は児童館でも配布

大人も子どもも、公園でからだを動かそう Let's Play & Sports

Update スポーツイベントで老若男女みんな元気に

第1弾はプロギング（ゴミ拾い）と健康遊具のイベントに17人が参加。さらに第2弾は**開園50周年に向けて**（公財）世田谷区スポーツ振興財団と共催した**プレイベント**（3月）には**約2,000人**が参加。



50周年記念「スポーツフェスタ」のプレイベント 車いすテニス体験&ダンス



NEW 親水テラスで水遊び！

夏休みにふさわしい水遊びイベントを通して地域住民に親水テラス等の水景施設を周知。都会の住宅地の中にありながらも水辺の豊かな自然を感じていただき、**子ども達に環境学習の場を提供**。



水鉄砲の射的ゲームや色々な場所の温度を測って違いを体感





みんなで共創 利用者の声と力を公園管理に活かそう

Update

地元のスケートボード協会との連携

毎月の清掃活動では**公園に隣接する歩道も清掃範囲を拡大**して地域の美化に貢献。昨年度から始めた子ども向け初心者教室は、技術のみならず公園利用のルールとマナーについても指導を行い、保護者からも大好評。今年度より**コミュニケーションボードを活用**し、子ども達にもわかりやすい掲示により、スケートボード利用者と他の利用者との相互理解を深めた。



歩道もきれいに地域貢献



コミュニケーションボードでマナーアップ

NEW

子ども達の声を反映

保育園へのヒアリングを基に、子ども用手洗い器やトイレ内にベビーベッドと着替え台を導入。利用者が公園管理に参画するグリーンセッションプロジェクトを推進。



子ども達に大人気の手洗い器

地域の防災拠点として、みんなの防災訓練

Update

パークミーティング開催

自治会、世田谷区、児童館等が参加し、**年3回開催。活発な意見交換**を通じて、**防災訓練成功に向け協力体制**を築いた。



各団体が活発な意見交換

Update

より実践的な防災訓練 公園を核とした防災対応力の向上

広域避難場所として、例年の「お祭り」から訓練的要素を強めて11月に実施。かまどベンチ、水消火器、煙中避難、AED、起震車等、**各ブースを回るスタンプラリー形式**としたことで、**多く子ども達が楽しみながら訓練に参加**でき、地域の防災対応力と意識向上に繋がった。



親子で初期消火訓練に挑戦!



ベンチがかまどに変身 マシュマロを焼いてみよう

創意工夫による維持管理 安全で快適な利用環境の提供

NEW

名木コナラの復活

世田谷名木100選のコナラの樹勢を回復するため、**発生材を活用した縦穴式割竹改良法**により固結した土壌を改良。



樹木周囲にロープ柵も設置して踏圧を軽減

NEW

廃材を活用した花壇製作

材料のロープ、ブロックやインターロッキング、支柱等はセンターにあった**廃材**を、**土は側溝清掃で発生した落葉の腐葉土**を活用。

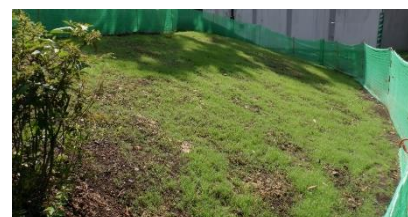


保育園用花壇は日当たりも改善

Update

新技術の活用

昨年度に引き続き、**藻類含有種子吹付け工法**を用いた緑化を拡大実施。裸地化が進んだ斜面地に緑を取り戻した。



子どもの遊び場法面に緑が順調に定着